

創立35周年



ハイメス

HIMES ニュース

Hokkaido International Music Exchange Society News Letter

35周年記念を祝して、2023年ハイメスは以下の4つのコンサートを企画いたしました

創立35周年



- 1月22日 第33回ハイメスニューイヤーコンサート ～躍動する今 新しい時へ～
- 3月8日 第54回ザ・ルーテルホール・ハイメスコンサート「ドイツの偉大な作曲家」
- 9月27日 第21回ハイメス・プラザ時計台の鐘コンサート
- 11月16日 ハイメス創立35周年記念特別企画 Harvest HIMES Vol.2「Bon Voyage！」

是非、今後のハイメスの記念事業コンサートにご参加下さい

創立35周年ごあいさつ

ハイメス理事長 長沼修



8月、北海道国際音楽交流協会(ハイメス)は創立35周年を迎えました。北海道の若手音楽家を海外研修や交流を通して育てたいと1988年、藤田道子さんや故竹津宜男さん、故石黒直文さんら、音楽家や経済界の有志8名の努力で生まれたハイメスは、変わらぬ精神で今日まで目的に向かって邁進してきました。

最優秀賞受賞者に海外研修奨学金を出すハイメスコンクールは創立精神の柱であり、来年3月には第36回を迎えます。これまでの受賞者はイタリア、ドイツ、米国などの欧米で研鑽を積み、北海道をはじめとした国内外で音楽家として、期待にたがわぬ活躍をしています。

35周年特別企画として11月16日、キタラ小ホールで記念コンサートを開催します。出演者のピアニスト、ジャスミン・アラカワさんは道産子で、2005年のハイメスコンクール最優秀賞受賞者です。奨学金で米国留学後も、同国で勉強を続けています。日本と米国の心が融合した音色を聞かせてくれるものと、期待しています。

35年の歩みは決して順風満帆ではありませんでした。最近ではコロナ禍に見舞われたことは、記憶に新しいでしょう。ハイメス主催の各種コンサートは中止を強いられ、アーティスト会員の活動は大きく制限されました。大変な努力と忍耐をされたことでしょう。そうした中、ハイメスが維持、存続できたのは、法人、個人会員からの変わらぬ会費、寄付などのご支援があったからこそです。改めてお礼申し上げます。お陰様で、2年間中止していたニューイヤーコンサートも今年1月に復活し、来年1月にも開催を予定しております。

1972年の札幌冬季五輪の歌「虹と雪のバラード」作詞者である河邨文一郎初代理事長、二代目木梨芳一氏、そして2005年から15年にわたり三代目理事長を務められた藤田久雄名誉理事長ら先輩諸氏が中心となって歩み続けたハイメス。2020年からの四代目理事長として、微力ながら、ハイメス発展のために努力し、40周年への橋渡し役を務めたいと思います。アーティスト会員の一層のご活躍を願うとともに、会員、関係者の皆さまのご支援を今後ともよろしくお願い申し上げます。

今後の事業案内

■ハイメス創立35周年記念特別企画 Harvest HIMES Vol.2「Bon Voyage !」

”Music and Multiplicity” 多様性が生み出す 音楽の力

ハイメス広報委員会 委員長 駒ヶ嶺ゆかり



ジャスミン・アラカワ
(ピアノ)



立花雅和
(フルート)



駒ヶ嶺ゆかり
(メゾソプラノ)

日時：2023年11月16日（木）18時30分開演（18時開場）

会場：札幌コンサートホールKitara小ホール

出演：ジャスミン・アラカワ（ピアノ）

駒ヶ嶺ゆかり（メゾソプラノ） 立花雅和（フルート）

ハイメス創立35周年記念事業の一つ、「Bon Voyage!」の開催が近づいて参りました。現在アメリカフロリダ大学音楽学部准教授のジャスミン・アラカワさんが来道し、自身が世界各地を旅した時のインスピレーションを投影させた『ジャワ組曲』を演奏されます。立花雅和のフルートとメゾソプラノ駒ヶ嶺ゆかりも共演の機会を頂きます。現在、コンサート委員会と広報委員会の共同で準備を進めております。

6年前の「アメリカン・フォーラム」にはじまり、インタビュー動画「Talking HIMES」や、オンラインによる『アメリカン・フォーラム』配信を通じ、広い視野で音楽の存在価値や役割を学び、音楽に携わる者の人生設計に役立つ事を目指すアメリカの教育システムをジャスミンさんから学びました。そこで今回は”Music and Multiplicity”をテーマとし、多様性が生み出す音楽の力を信じて人生を豊かする、そのメッセージをジャスミンさんの音楽と言葉から共感できればと願っています。

是非、Harvest HIMES Vol.2「Bon Voyage !」にお運び頂きたくお願い申し上げます。

■第34回ハイメスニューイヤーコンサート ～これからも 貴方とともに～



岡元敦司
(バリトン・司会)



伊藤千尋
(司会)



梅宮恵里
(ピアノ)



三本木力哉
(ピアノ)



菅原利美
(ソプラノ)



東園己
(メゾソプラノ)



奥出かおり
(ピアノ)

日時 2024年1月21日（日） 12時30分開演

会場 札幌パークホテル パークホール

出演 司会 岡元敦司 伊藤千尋

祝奏 梅宮恵里（箏） 吉沢検校作曲 「千鳥の曲」

♪三本木力哉（ピアノ・第35回ハイメスコンクール最優秀賞者）

F.リスト ラ・カンパネラ

F.シューベルト=F.リスト編 「冬の旅」より菩提樹 S.561/R.246

R.シュトラウス=L.ゴトフスキー編 セレナーデ Op.17-2

♪菅原利美（ソプラノ） 東園己（メゾソプラノ）

岡元敦司（バリトン） 奥出かおり（ピアノ）

歌劇「蝶々夫人」より “ある晴れた日に”

歌劇「カルメン」より “闘牛士の歌”

“ハバナラ” 他

♪みなさまと一緒に

作詞 河邨文一郎 作曲 村井邦彦 「虹と雪のバラード」



チケットお申し込み
フォームはこちら

第34回目の開催となるハイメスニューイヤーコンサートを、2024年1月21日(日)に開催いたします。創立35周年を迎え、これまでハイメスをご支援くださっている会員皆様をはじめ、たくさんの方々への感謝の気持ちを胸に、そして、今後も皆様と一緒にアーティストの応援を継続していきたいという強い決意を込めて、「これからも 貴方とともに」というテーマを掲げました。

当日は、箏奏者 梅宮恵里さんによる『千鳥の曲』で皆様をお迎えいたします。コンサートに出演するのは、第35回ハイメスコンクール最優秀賞者の三本木力哉さん。これから海外留学を目指す若きピアニストです。ぜひ会場これから世界へ羽ばたくアーティストの応援をお願いいたします。また、道内外で活躍する声楽家によるオペラステージもご用意いたしました。北海道を代表する歌手たちのパフォーマンスをぜひお楽しみください。新年、日曜日のランチタイムを、札幌パークホテルのお食事と共に、皆様と共有できるのを心よりお待ちしております。

■ザ・ルーテルホール第35回ミュージック・トゥモロー <札幌音協・ハイメス>国際交流コンサートのご案内

日時：2024年2月15日（木）開演19：00（予定）
会場：ザ・ルーテルホール（札幌市中央区大通西6丁目3-1）
共催：ザ・ルーテルホール 札幌音楽家協議会 NPO 法人北海道国際音楽交流協会（ハイメス）
出演者：NPO 法人北海道国際音楽交流協会（ハイメス）会員 及び札幌音楽家協議会会員
招聘アーティスト：ジョンボル・ダーニエル・エセニ氏（クラリネット）

昨年度に続き、札幌音楽家協議会とハイメスの共催事業として、国際音楽交流コンサートを開催いたします。今回は、ハンガリーの新鋭クラリネット奏者である、ジョンボル・ダーニエル・エセニ氏をお迎えすることとなりました。エセニ氏は若い新進気鋭の演奏家で、札幌コンサートホールの主催事業「ハンガリーの俊英たち」のリサイタルコンサートのために招聘するアーティストです。来札の折に、札幌の演奏家との共演の機会を頂けることになりました。現在、両団体から公募した共演者を参考に、担当委員会において楽曲の調整を行っております。演奏会詳細は11月決定予定です。決まり次第、札幌音楽家協議会及びハイメスのHP等でご案内いたします。

■第55回ザ・ルーテルホール・ハイメスコンサート「音楽の宝石箱」

日時：2024年3月6日（水）開演19:00
会場：ザ・ルーテルホール
共催：NPO法人北海道国際音楽交流協会（ハイメス） ザ・ルーテルホール
出演：ソプラノ／板垣恵 ピアノ／橘田由希乃 ソプラノ／後藤ちしを ピアノ／千葉皓司
ソプラノ／亀谷泰子 フルート／八條美奈子 ピアノ／橘田由希乃 ピアノ独奏／石井ルカ

ザ・ルーテルホールとの共催事業であるこのコンサートシリーズは今回で55回目を迎えます。「音楽の宝石箱」は、アーティスト自身が挑戦したい曲、今演奏したい曲を持ち寄り、自由選曲をテーマとしています。出演者は公募で決定し、声楽、アンサンブル、ピアノ独奏、それぞれのアーティストが想いを込めたコンサートです。演奏曲目など詳細は12月頃に決定します。

■第36回ハイメスコンクール <管・弦・打楽器部門> 参加者募集

日時：2024年3月14日（木）11時開始予定
会場：北広島市芸術文化ホール（花ホール）

審査委員長

澤 和樹（ヴァイオリン・前東京藝術大学学長）

審査委員

新井 まどか（フルート・前札幌大谷大学非常勤講師）

大隅 雅人（トランペット・札幌大谷大学教授）

笠井 尚貴（打楽器・札幌大谷大学非常勤講師）

河野 泰幸（クラリネット・札幌大谷大学准教授）

真貝 裕司（打楽器・元札幌交響楽団首席奏者）

文屋 治実（チェロ・元札幌交響楽団副首席奏者）

渡部 謙一（ユーフォニアム・北海道教育大学岩見沢校准教授）（敬称略・五十音順）



コンクールについての
詳細ページはこちら

本年度のハイメスコンクールは<管・弦・打楽器部門>を開催いたします。参加申し込みは2024年1月からです。詳細はハイメスのホームページに掲載しています。

■ハイメス研修事業「澤 和樹先生による公開レッスン」

日時：2024年3月13日（水）10時開始予定・札幌大谷大学 響流ホール（予定）
受講対象楽器：管弦を含むソロ、アンサンブル（ピアノ入りも可）
特別講師：澤 和樹先生（ヴァイオリン奏者・前東京藝術大学学長）

ハイメスコンクールの審査委員長として来札される、澤和樹先生を特別講師にお迎えし、公開レッスンを実施いたします。ハイメスアーティスト会員の、弦楽器・管楽器を対象とした、ソロ・アンサンブルのレッスンです。ご応募をお待ちしております。

第21回ハイメス・プラザ時計台の鐘コンサート 公演終了



Pf.影山裕子



M.Sop.駒ヶ嶺ゆかり Pf.今野くる美



時計台の鐘コンサート出演者の3名



『時計台の鐘』を来場者の皆様と合唱

2023年9月27日(水)札幌時計台ホールにおいて、第21回ハイメス・プラザ時計台の鐘コンサートが開催されました。今回の時計台の鐘コンサートは、前半は影山裕子さん(Pf.)によるシューマン「クライスレリアーナ Op.16」の演奏、後半は、駒ヶ嶺ゆかりさん(M.Sop.)と今野くる美さん(Pf.)による演奏で、間宮芳生「日本民謡集」より8曲を披露していただきました。前半と後半で異なる洋と和の演奏は、それぞれの魅力を大いに堪能できる特別なプログラムとなりました。終演後、ご来場のお客様からも、「一夜で2通りの音楽を聴けてとても幸せだった」「時計台の雰囲気によく合う音楽会だった」「ぜひまたこのようなプログラムを企画してほしい」とたくさんの喜びのお声がありました。今回は、コロナで自粛していた、恒例の来場の皆様と一緒に歌う『時計台の鐘』を復活!4年振りに時計台に響き渡る歌声に、胸が熱くなりました。

(ハイメス事務局・記)

アーティスト会員派遣事業報告

プラチナ会員様の会員特典としての演奏家派遣をはじめ、ハイメス内外からアーティスト会員の演奏依頼が増えています。2023年度は、これまでに4か所にアーティスト会員を派遣し、先々で好評のお声をいただいております。今後もご依頼がありましたら、様々なアーティスト会員に演奏をしていただく予定です。



■国際ソロプチミスト札幌ノイエ様

2023年5月28日(土) 札幌パークホテル パークホール
Pf.浅沼恵輔 Pf.徳田貴子

■札幌合同らいたく会様(北海道銀行様)

2023年6月12日(月) 札幌グランドホテル
1st Vn.山本聖子 2nd Vn.長谷川加奈
Vla.後藤美和子(賛助) Vc.山田慶一

■医療法人社団 明日佳様

2023年7月5日(水) 特別養護老人ホーム あすか HOUSE 中央
Sop.高橋雅子 Pf.橘田由希乃

■駐札幌大韓民国総領事館様

2023年10月4日(水) 京王プラザホテル
Vn.山本泰子 Pf.橘田由希乃
Fl.勝海音葉(学生) Per.永岡涼子(賛助)

編集後記

記録的猛暑日を更新した今夏。「暑い!」を何度口にしたことだろう。今年に限らず、暑い季節にやっておかなければならない事をすませないと、涼しさを感じてからでは間に合わないと思う。いよいよ秋の演奏会シーズンもはじまり、各事業がその時を目指し準備を進めている様子が、ニュースレターを通じてご覧いただけます。熱い、篤い、厚い音楽が新たな音楽シーンを創ってゆくことを期待し、ハイメス創立35周年記念企画のひとつとして、彩りと深みが添えられる事を心から願うものです。

(ハイメス広報委員 委員長 駒ヶ嶺ゆかり)



ハイメス

検索

<http://www.himes.jp>

企画・製作 ハイメス広報委員会

駒ヶ嶺ゆかり 立花雅和
アドバイザー 樋泉実(副理事長)
松田敏一(事務局長) 立花麻美(事務局)

